

42nd

Y E A R

Nippon Information Development Co.,Ltd.

株式会社 エヌアイデイ

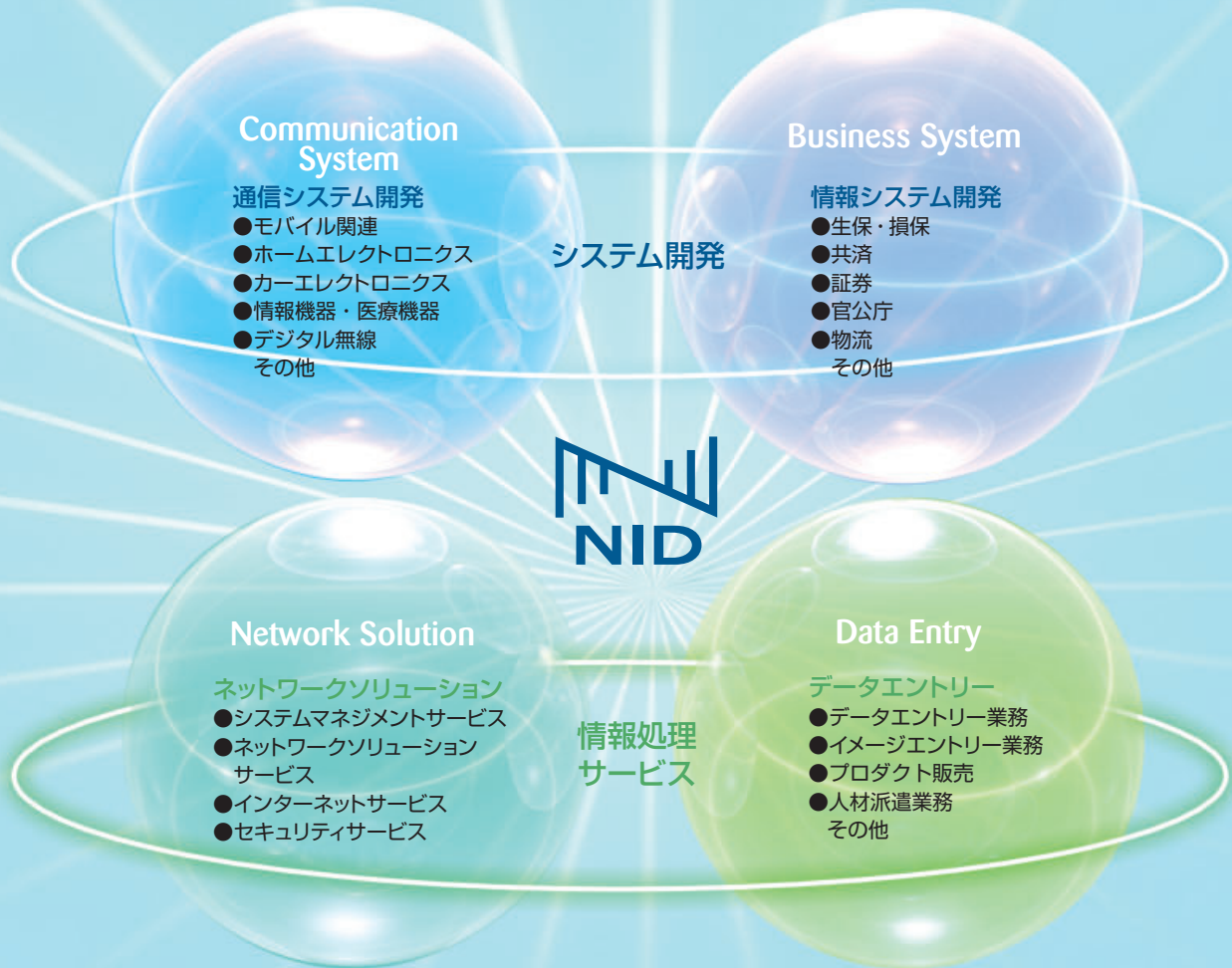
株主通信 vol.7

第42期 決算報告

2008年4月1日～2009年3月31日

Mobile & Embedded

Uビジネス時代に新たなステージで挑戦し続けるNID



ITの発展を根底から支える技術力とノウハウ。NIDでは、
4つの事業で最先端の基幹技術を提供しています。

当社グループは、ヒューマンウェアをコンセプトに、最先端の組込み技術をはじめ、
2つの領域・4つの分野でソリューションを展開。
お客様の業務効率化と生産性の向上に貢献できるシステムの開発・構築から運用に至るまで、
幅広い分野でサービスを提供しています。



代表取締役社長 鈴木 清司

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループ2008年度(平成20年度第42期)の連結決算概況をご報告申し上げます。

当期は、世界的な金融資本市場の危機を契機に実体経済が減速し、さらに円高などを背景に企業収益の大幅な減少から設備投資も減少する結果となりました。情報サービス業界におきましても、顧客の新規IT投資の先送りや抑制が顕著に表れ、厳しい受注環境で推移しました。

この結果、当期の連結売上高は155億7千8百万円(前期比0.8%減)、営業利益10億7千1百万円(前期比19.8%減)、経常利益10億8千4百万円(前期比20.9%減)、当期純利益5億8千5百万円(前期比23.9%減)となりました。

当社グループは、重点施策である「人材の確保と技術者教育の徹底」を図るための教育投資と「得意分野にフォーカスした専門技術者集団の構築」に積極的に取り組むほか、携帯端末向けiPhone対応アプリケーションの開発・提供やパートナー企業との協業ビジネスの推進など、「付加価値ビジネスの体制強化」にも注力しました。今後も、持続的成長に向けた施策を積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



堅実なバランス経営と 新たな付加価値ビジネスの推進で さらなる成長をめざします。

代表取締役社長 鈴木 清司

（厳しい受注環境の下、当期はバランス経営の 強みを発揮した一年でした。）

景気が急速に悪化する状況の中、システム開発事業では、通信システム分野で下期においてモバイル関連や半導体、自動車などの大手既存顧客の開発案件の見直しや延期が顕著となりました。一方、情報システム開発においては一部証券分野での開発終了等はあったものの、生損保分野で受注が増加し、比較的堅調に推移しました。

情報処理サービス事業では、ネットワークソリューション分野で永年顧客の受注が引き続き堅調であり、新規案件獲得には苦戦したものの安定的に推移しました。またデータエントリー分野でも年間を通じて堅調に推移しました。

情報サービス業界全体で受注が減少する状況下で、当期の目標をほぼ達成できたことは、当社グループ企業の結束した事業活動の結果だと捉えています。これは長年



追求してきた4事業におけるバランス経営の強みが奏功したものと理解しています。しかし収益面では、株価下落の影響で適格退職年金の運用損失が1億円強発生したこと、新入社員採用に伴う稼働率の低下と技術力強化のための教育投資のコスト増が要因となり減益となりました。

（ プロダクトを中心とした 付加価値ビジネスを積極的に展開しました。）

当社グループの4つの基盤事業においてシステム開発事業は苦戦を強いられたものの、失った顧客が1社もなかったことは光明のひとつでした。また前期にプロダクト部を設置し、当期は新たな付加価値ビジネスに積極的に取り組んでまいりました。

現在、3つの形態でプロダクト事業を進めております。

第1に自社開発のシステム系プロダクト、第2にパートナー企業との協業ビジネス、そして第3はiPhoneなどのオープンプラットフォームのアプリケーションです。

特にパートナー企業との協業ビジネスは有望で、既にアクロディア社をはじめとする4社協業で携帯電話を自由にカスタマイズできるプラットフォームを開発し、2009年5月に開催された第12回組込みシステム開発技術展「ESEC」に出展しました。これは社内システムと連動でき、ビジネスとパーソナルで携帯電話のコア機能を切り替えることができる特長を有しています。今後はMVNO*の事業領域でも発展する可能性も秘めています。またiPhoneなどのオープンプラットフォーム系アプリケーションでは、「GPS-R」の無料版が世界で6万以上ダウンロードされたほか、「Ki-Ri-e」や「カメレ音」「ToyMode」などを続々とリリースしました。この分野は良い製品を出せば世界的にヒットするという感触を得ましたので、継続して開発する予定です。

現在ではNID・ISのほか、通信システム部門と営業部門にも開発部署を増設し、3カ所で競争して推進していますが、将来的にはこれら付加価値ビジネスを当社の第5の事業体として成長させたいと考えています。

携帯電話カスタマイズプラットフォーム

当社は

- 株式会社アクロディア
- 株式会社レジェンド・アプリケーションズ
- 株式会社アイエスピー

と協業し、携帯電話カスタマイズプラットフォームを共同開発しています。4社はこのプラットフォームの製品化を進め、新たなブーム創造のため、携帯電話ソフトの構造改革をめざしています。

（ 引き続き堅実なバランス経営で 次期は売上高160億円をめざします。）

今後もまだ厳しい状況が続くと考えられますが、引き続きコアビジネスの強化・拡大に努め、専門技術者教育と付加価値ビジネスの積極的な推進、営業体制の強化などを進め、経営基盤強化を図っていく所存です。

情報処理サービス事業では、従来通りに安定した事業として運営していき、システム開発事業では体制そのものを増強したいと考えています。加えてプロダクト開発やパートナー企業との協業ビジネスの積極的な推進など、将来を見据えた投資も行なっていきたいと考えております。

具体的には次期の目標として売上高160億円(当期比2.7%増)をめざします。

*MVNO: Mobile Virtual Network Operator (仮想移動体サービス事業者)

携帯電話などの無線通信インフラを他社から借り受けてサービスを提供する事業者の呼称。免許を受けた事業者の設備を利用することで、免許のない事業者も無線通信サービスを提供することが可能となり、欧州では英国バージングループが「Virgin Mobile」を展開するなど、数多く存在する。

数字で見るNID

財務ハイライト(連結)

POINT 1

売上高は前年と
ほぼ変わらず

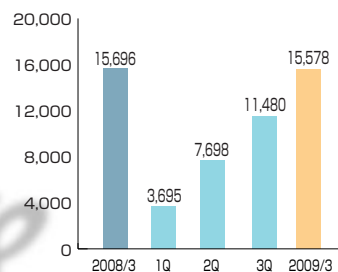
POINT 2

1株につき45円の
配当を維持
(前年同額)

売上高

15,578 百万円

(単位:百万円)

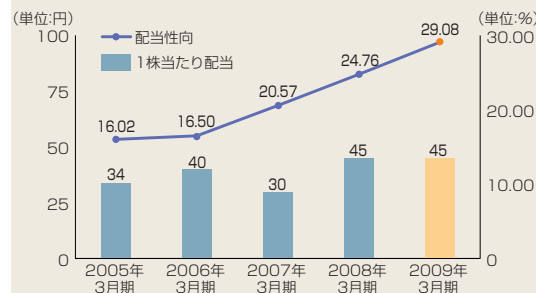


当年度の売上高は155億7千8百万円(前期比0.8%減)とほぼ前年並みとなりました。

この要因は、通信システム開発事業が景気後退の影響を受けシステム開発案件の見直しや延期が増加し、受注が減少したものの情報システム開発事業、ネットワークソリューション事業では、引き続き永年顧客の受注が堅調であったことによるものです。

45 1株当たり配当

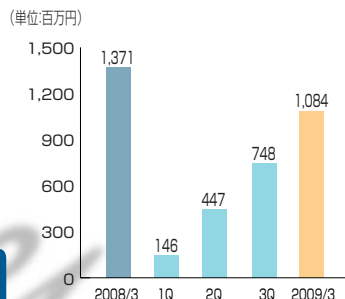
株主の皆様へ利益還元を行なうことを経営の最重要課題の一つと位置付け、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。当期末の配当につきましても、前期と同額の1株につき45円の配当を決定いたしました。今後も安定した配当を継続できるよう堅実な経営に努めてまいります。



(2006年10月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行なっています)

経常利益

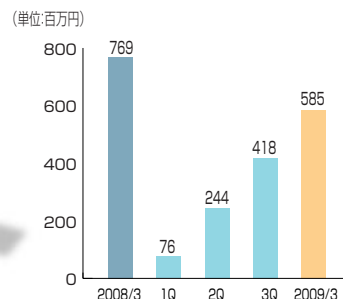
1,084
百万円



当年度の経常利益は10億8千4百万円(前期比20.9%減)となりました。主な要因といたしましては、大幅な株価下落の影響により、適格退職年金として積み立てている運用資産の損失が拡大したため、その補填として退職給付引当金の積み増しが発生したこと、また、新入社員採用に伴うコストの増加や、技術力強化のための教育投資コストが増加したことなどがあげられます。

当期純利益

585
百万円



当年度の当期純利益は5億8千5百万円(前期比23.9%減)となりました。主な要因といたしましては、経常利益の減少に伴うものです。

72%

長期にわたる継続的な取引が
72%を超えています。

航空会社、家電メーカーや生損保会社など、30年以上継続取引を行なっている顧客が約25社、10年以上の取引継続先を含めると約85社となります。この長期にわたる優良取引先との関係は、当社の高い技術力による信頼の証であることを裏付けています。こうした実績は、当社の特長である安定性を生み出す結果となっています。

合計売上比率 72%

取引30年以上

- 大手航空会社
- 家電メーカー
- 生損保会社
- 官公庁など

約25社
(売上比率38%)

取引20年～30年

- 百貨店
- 出版会社
- 建設業
- 証券会社など

約20社
(売上比率7%)

取引10年～20年

- 生損保会社
- 電力会社
- 家電メーカー
- 公共・学校など

約40社
(売上比率27%)

付加価値ビジネスへの積極展開

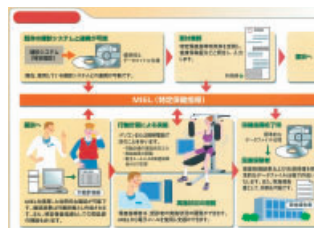
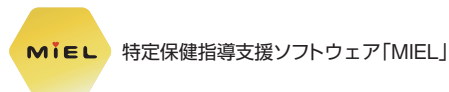
2009年度は付加価値ビジネスの体制強化を大きく前進させます。すでに「MIEL」などの多数の自社開発プロダクトを開発・販売。またパートナー企業との協業ビジネスによって、まったく新しいプロダクトが誕生しています。さらにB to Cとして、iPhoneやアンドロイドなどのグローバルなオープンプラットフォーム用アプリケーションも数々送り出しています。



自社開発プロダクト

システム系プロダクトの自社開発も順調に伸展。拡販にも注力しています。

特定保健指導支援ソフトウェア「MIEL」をはじめ、組込みソフトウェア自動評価システムの「E-stas」など、さまざまなシステム系プロダクトを自社開発・販売しています。これらは当社が長年培った技術をバックボーンに技術者が自由な発想で開発したものであり、さまざまな分野から高い関心と評価をいただいています。今後も当社では自社プロダクトの開発に注力していきます。



「MIEL」はNID・ISが開発した、いわゆるメタボ検診に特化したソフトウェア。保健指導者と受診者がパソコンと携帯電話を用いて情報共有を行ない、特定保健指導の効率化を実現します。

E-stas Embedded Software Test & Analyze System 組込みソフトウェア自動評価システム「E-stas」



携帯電話などの組込みソフトウェアの評価試験を自動化する画期的なシステム。24時間自動試験が可能のため、開発の期間短縮と経費節減を実現します。

協業ビジネス

携帯電話カスタマイズプラットフォームで ケータイの未来を創造。

アクロディア社をはじめとする4社の協業により、携帯電話カスタマイズプラットフォームの共同開発を行なっております。

この共同開発は、携帯電話の機能とデザインを自由自在にカスタマイズできる画期的なプラットフォームで、ビジネスユースでは社内情報システムやグループウェアと連動させ、高機能な業務端末として活用することができ、ひとつの携帯電話をパーソナルとビジネスで切り替えることも可能となります。

さらに作りやすさと品質を両立させたコンテンツ開発ツールと自由度の高い画面カスタマイズ機能により、携帯電話が全く別の情報端末へと変身します。



ユーザー1人ひとりにとって使いやすく便利なUIを提供

- ・待受け画面の自由設計
- ・ハードはひとつで機能はユーザーごと
- ・ユーザーのカスタム性
- ・作りやすさと品質を両立する開発環境
- ・端末&web連携
- ・端末コスト低減

オープンプラットフォームアプリケーション

iPhoneやアンドロイド向けの アプリケーションを続々とリリース。

いま、世界的にiPhoneやアンドロイドといったオープンソースの携帯電話プラットフォームが注目され、スマートフォンと呼ばれる高機能携帯端末の販売が急増しています。そうした有望市場に向け、2008年11月4日にNID・ISがiPhone用アプリ「GPS-R」を全世界に向けてリリース。これは指定した場所で作動する新しいタイプのリマインダーで、米国や欧州で大反響を呼びました。これはアンドロイド向けにもリリースしています。そのほかにも日本文化である切り絵を自由自在地楽しめる「Ki-Ri-e」をはじめ、音や声で遊ぶ「カメレ音」、子どもの遊びがシンプル操作で楽しめる「ToyMode」など、iPhone用アプリを開発し積極的にリリースしています。



GPS-R



Ki-Ri-e



カメレ音



ToyMode

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	7,240,894	6,799,987
現金及び預金	3,967,984	3,629,528
受取手形及び売掛金	2,473,107	2,574,537
有価証券	101,051	1,031
たな卸資産	—	89,680
仕掛品	161,617	—
繰延税金資産	428,984	419,593
その他	111,571	89,002
貸倒引当金	△3,422	△3,386
固定資産	2,719,926	2,638,566
有形固定資産	265,386	249,723
建物及び構築物	61,873	65,998
車両運搬具	10,788	6,129
工具、器具及び備品	41,040	40,828
土地	136,767	136,767
リース資産	14,916	—
無形固定資産	255,904	166,003
ソフトウェア	172,498	101,697
その他	83,406	64,306
投資その他の資産	2,198,636	2,222,839
投資有価証券	672,883	764,576
繰延税金資産	935,840	826,769
差入保証金	509,617	510,162
その他	80,294	121,330
資産合計	9,960,821	9,438,554

(単位：千円)

科 目	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	2,037,773	2,169,441
買掛金	348,844	365,742
未払金	265,394	320,799
未払法人税等	286,123	362,660
未払消費税等	88,334	121,662
預り金	52,473	58,523
賞与引当金	882,368	839,692
その他	114,234	100,361
固定負債	2,449,946	2,199,168
退職給付引当金	2,075,847	1,862,935
役員退職慰労引当金	358,887	335,633
その他	15,211	600
負債合計	4,487,719	4,368,610
純資産の部		
株主資本	5,514,773	5,099,410
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	5,599,109	5,183,609
自己株式	△1,226,363	△1,226,226
評価・換算差額等	△41,670	△29,466
その他有価証券評価差額金	△41,670	△29,466
純資産合計	5,473,102	5,069,943
負債純資産合計	9,960,821	9,438,554

連結損益計算書(要約)

(単位: 千円)

科 目	当期	前期
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
売上高	15,578,906	15,696,791
売上原価	12,698,621	12,589,074
売上総利益	2,880,284	3,107,717
販売費及び一般管理費	1,808,931	1,772,312
営業利益	1,071,353	1,335,404
営業外収益	26,407	44,659
営業外費用	13,392	8,654
経常利益	1,084,367	1,371,409
特別利益	64	12,338
特別損失	37,200	67,910
税金等調整前当期純利益	1,047,231	1,315,837
法人税、住民税及び事業税	571,467	595,742
法人税等調整額	△110,090	△49,573
当期純利益	585,854	769,667

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位: 千円)

科 目	当期	前期
	(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	748,365	968,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,125	△480,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,183	△1,259,999
現金及び現金同等物の増減額	363,057	△771,474
現金及び現金同等物の期首残高	3,444,809	4,216,284
現金及び現金同等物の期末残高	3,807,866	3,444,809

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は748百万円（前期比22.7%減）となりました。これは主に、法人税等の支払額の増加およびたな卸資産の増加等の支出要因を、税金等調整前当期純利益および売上債権の減少等の収入要因が上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用された資金は213百万円（同55.6%減）となりました。これは主に、協業ビジネスを目的として購入した投資有価証券の取得、有形固定資産および無形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用された資金は172百万円（同86.3%減）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものです。

連結株主資本等変動計算書(要約) 当期(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	653,352	488,675	5,183,609	△1,226,226	5,099,410	△29,466	△29,466	5,069,943
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△170,355		△170,355			△170,355
当期純利益			585,854		585,854			585,854
自己株式の取得				△136	△136			△136
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△12,204	△12,204	△12,204
連結会計年度中の変動額合計	—	—	415,499	△136	415,362	△12,204	△12,204	403,158
平成21年3月31日残高	653,352	488,675	5,599,109	△1,226,363	5,514,773	△41,670	△41,670	5,473,102

単体貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科 目	当期 (平成21年3月31日)	前期 (平成20年3月31日)
流動資産	4,798,280	4,589,577
固定資産	2,447,107	2,430,107
有形固定資産	235,079	231,756
無形固定資産	153,315	95,108
投資その他の資産	2,058,712	2,103,243
資産合計	7,245,388	7,019,685
流動負債	1,615,697	1,736,543
固定負債	2,078,693	1,889,592
負債合計	3,694,390	3,626,136
株主資本	3,592,668	3,423,015
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	3,677,004	3,507,215
自己株式	△1,226,363	△1,226,226
評価・換算差額等	△41,670	△29,466
その他有価証券評価差額金	△41,670	△29,466
純資産合計	3,550,997	3,393,549
負債純資産合計	7,245,388	7,019,685

単体損益計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	当期 (自 平成20年4月 1 日 至 平成21年3月31日)	前期 (自 平成19年4月 1 日 至 平成20年3月31日)
売上高	11,792,910	12,106,416
売上原価	9,728,895	9,783,519
売上総利益	2,064,014	2,322,897
販売費及び一般管理費	1,409,871	1,411,810
営業利益	654,143	911,087
営業外収益	107,706	128,143
営業外費用	95,266	91,089
経常利益	666,583	948,141
特別利益	2	12,287
特別損失	37,149	67,689
税引前当期純利益	629,436	892,739
法人税、住民税及び事業税	371,450	419,437
法人税等調整額	△82,159	△47,759
当期純利益	340,144	521,060

単体株主資本等変動計算書（要約） 当期（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金 合計						
平成20年3月31日残高	653,352	488,675	488,675	29,095	810,000	2,668,120	3,507,215	△1,226,226	3,423,015	△29,466	△29,466	3,393,549
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△170,355	△170,355		△170,355			△170,355
当期純利益						340,144	340,144		340,144			340,144
自己株式の取得								△136	△136			△136
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額（純額）										△12,204	△12,204	△12,204
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	169,789	169,789	△136	169,652	△12,204	△12,204	157,448
平成21年3月31日残高	653,352	488,675	488,675	29,095	810,000	2,837,909	3,677,004	△1,226,363	3,592,668	△41,670	△41,670	3,550,997

会社概要・株式の状況

Corporate Data・Stock Information

会社概要 (2009年3月31日現在)

社 名 株式会社エヌアイディ
英 社 名 (Nippon Information Development Co., Ltd.)
所 在 地 〒160-0023
(本店営業所) 東京都新宿区西新宿7-6-4
tel 03-3365-2621 (代)
fax 03-3365-2945
設 立 1967年(昭和42年)5月
資 本 金 6億5,335万円
役 員 代表取締役会長 小 森 孝 一
(2009年6月26日現在) 代表取締役社長 鈴 木 清 司
常 務 取 締 役 馬 場 常 雄
常 務 取 締 役 小 森 俊 太 郎
取 締 役 北 雅 昭
取 締 役 田 辺 学
取 締 役 下 山 和 郎
取 締 役 鈴 衛 哲 雄
常 勤 監 査 役 千 保 郁 夫
監 査 役 菅 井 源 太 郎
監 査 役 濱 田 清

社 員 数 単体 906名 連結 1,407名
事 業 内 容 システム開発事業
通信システム開発
情報システム開発
情報処理サービス事業
ネットワークソリューション
データエントリー
その他

関 連 会 社 (株) NID・IS
(株) NID 東北
(株) NID・IE

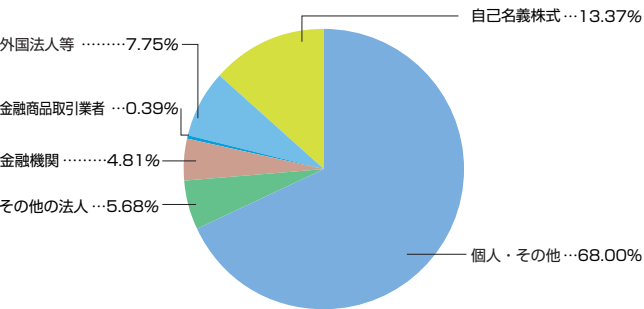
主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行
みずほ銀行
りそな銀行
三井住友銀行
三菱UFJ信託銀行
佐原信用金庫

株式の状況 (2009年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 17,479,320株
(2) 発行済株式の総数 4,369,830株
(3) 株主数 551名
(4) 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
小森 孝一	619,982	14.19%
小森 俊太郎	617,960	14.14%
株式会社エヌアイディ	584,237	13.37%
エヌアイディ従業員持株会	239,296	5.48%
有限会社クリエートトニーワン	233,700	5.35%
小澤 忍	147,732	3.38%
ユービーエスセキュリティズエルエルシーカスタマーセグリティッドアカウント	142,600	3.26%
ベイリーギフォードシンニッポンビーエルシー	92,400	2.11%
竹田 和平	90,000	2.06%
資産管理サービス信託銀行株式会社(金銭信託課税口)	90,000	2.06%

所有者別株式分布状況



第12回組み込みシステム開発技術展「ESEC」に出展しました。



東京ビッグサイトにおいて2009年5月13日から15日までの3日間、第12回組み込みシステム開発技術展が盛大に開催されました。当社では昨年に引き続き出展し、数多くのお客様に当社の技術やプロダクトをご紹介しました。展示やデモは、モバイル&エンベデッドの専門技術者集団である当社らしい製品などを一挙紹介。アクロディア社など4社で協業開発した携帯電話カスタマイズプラッ



株 主 メ モ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111(通話料無料)
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nid.co.jp/kessan.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
(ご注意)	
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。	

株式会社 エヌアイディ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-6-4
TEL: 03-3365-2621 (代) FAX: 03-3365-2945

<http://www.nid.co.jp>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2349

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com